

伊集院保健所感染症情報

2026年第4週（令和8年1月19日～令和8年1月25日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内流行発生警報発令：伝染性紅斑

管内流行発生警報発令中：インフルエンザ，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID），小児科1，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県		
	開始	終息		基準値	第1週	第2週	第3週	第4週	先週からの増減	第3週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	89.50	89.00	79.00	119.00	↗	66.23	↗	
インフルエンザ	30	10	10	37.00	26.50	21.50	12.00	↘	27.98	↗	
COVID-19	—	—	—	1.00	1.00	0.00	0.00	→	0.42	↘	
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	1.00	1.00	1.00	→	0.52	↘	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	4.00	8.00	9.00	9.00	→	3.00	↗	
感染性胃腸炎	20	12	—	1.00	2.00	11.00	9.00	↘	5.74	→	
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.45	↘	
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗	
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	3.00	↗	1.03	↘	
突発性発しん	—	—	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.26	↗	
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘	
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	→	
R Sウイルス感染症	—	—	—	2.00	2.00	1.00	0.00	↘	1.45	↗	
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			つつが虫病（1）								
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし											

● TOPIC

ツツガムシに注意しましょう

鹿児島県では、11月から1月にかけての患者の発生届出が多くみられます。

（臨床的特徴）

つつが虫病は、リケッチャアを保有するツツガムシに刺されて5～14日の潜伏期の後に、全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症します。体温は、段階的に上昇し数日で40℃にも達します。刺し口は、皮膚の柔らかい隠れた部分に多いです。刺し口の所属リンパ節は、発熱する前頃から次第に腫脹します。第3～4病日より不定型の発疹が出現しますが、発疹は顔面、体幹に多く、四肢には少ないです。

テトラサイクリン系の有効な抗菌薬による治療が、適切に行われると劇的に症状の改善がみられます。重症になると肺炎や脳炎症状を起こします。

北海道、沖縄など一部の地域を除いて全国で発生がみられます。

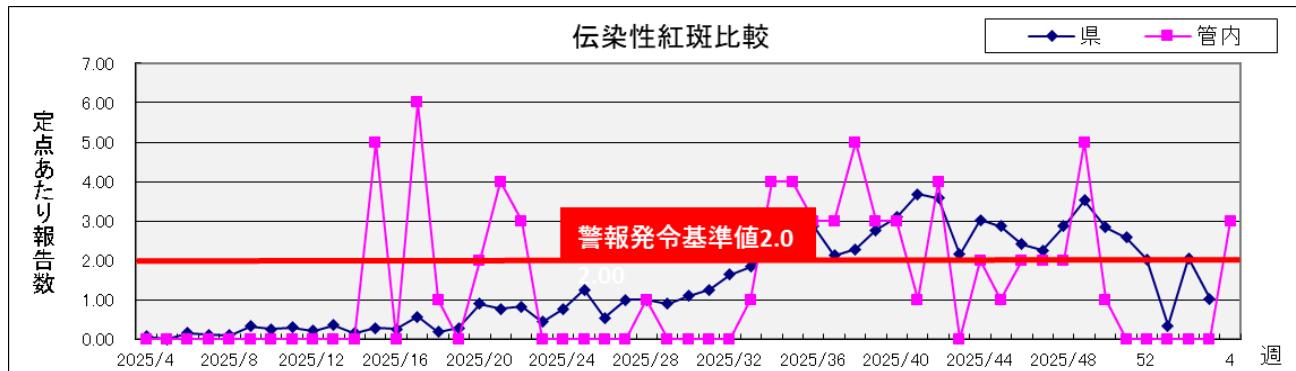
発生時期は春～初夏及び晩秋から冬ですが、媒介ツツガムシの生息地域によって異なります。



参考資料等 →

● 注意すべき感染症

・ 伝染性紅斑（流行発生警報発令！）



第4週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、5歳（3人）定点当たり 3.00 でした。

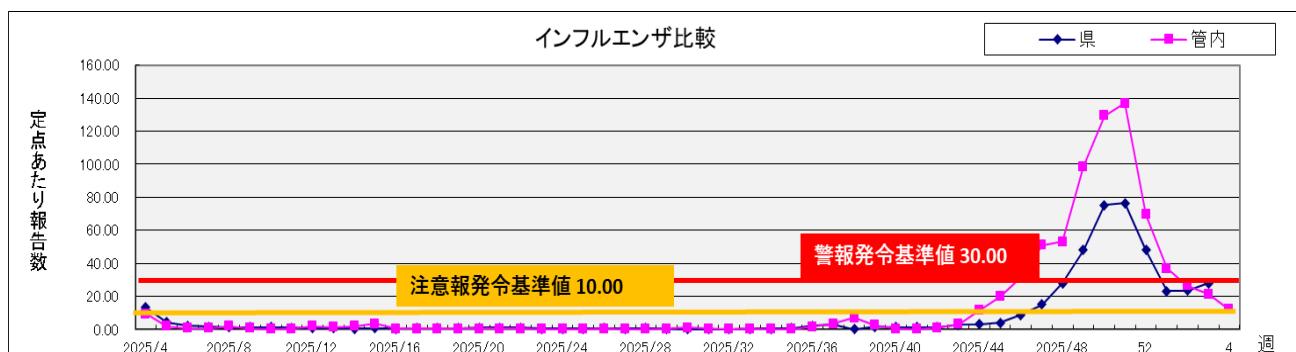
伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることがあります。

10～20 日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は 1 週間程度で消失します。感染経路は、飛沫感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう

・ インフルエンザ（流行発生警報発令中）



第4週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、3週の 43 人（定点当たり 21.50）から 22 人少ない、24 人（定点当たり 12.00）です。

年齢別の報告では、10～14 歳（8 人）、6 歳（5 人）、7 歳・8 歳（各 3 人）、2 歳・15～19 歳（各 2 人）、5 歳（1 人）でした。

インフルエンザは、発症すると 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあります。高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

○学校における感染症による出席停止の状況 1/19～1/25（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが 58 人（型不明 42 人、A 型 2 人、B 型 14 人）、流行性耳下線炎 1 人、流行性角結膜炎 1 人、感染性胃腸炎 4 人、溶連菌感染症 4 人、マイコプラズマ感染症 1 人、COVID-19 が 1 人報告されています。

自治体名\疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	インフルエンザB型	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	流行性角結膜炎	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナ感染症
日置市	22	1	12	1	1	4	2	0	0
いちき串木野市	20	1	2	0	0	0	2	1	1
三島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	42	2	14	1	1	4	4	1	1